

本当の幸せってなんだろう？

はじめに

日本で暮らす多くの児童は日本で生まれ育ち、日本人の両親に育てられ、今の生活環境や日本の制度に何も疑問を持たず、それがあたりまえ、常識だと思って過ごしている。しかし、視点を変えれば必ずしもそうではない。国や立場が違えばそれぞれに考えや思い、習慣があり、その国のよさがある。子どもたちには偏った見方、考え方にとらわれず、互いの違いを受け入れ、良さを見つけ合い、もっとよくなるためには…と多様な他者といっしょに未来を切り開き、自分側からの視点だけでなく、様々な立場や視点から物事を考えられる人間になってもらいたいと考え教材作成に至った。

この教材の使い方

「小学校学習指導要領（平成29年告示）」には“一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。”と明記されている。本教材での学習を通して、自分と他者の価値観の違いを実感するとともに、自分の生きてきた世界、知っている世界だけが常識ではないことを理解し、世界の課題を知ることで世界の出来事に興味をもったり、持続可能な社会の創り手として自分にできることはないかと考えたりすることのできる子どもの育成を目指す。

全体のねらい

- ・無意識の思い込みは誰にでもあると気づき「ふつうは、みんなは」ではなく、目の前にいる違う個性をもった一人一人を大切にしようとする心情を育てる。
- ・幸せの感じ方は人それぞれであり、相手の価値観も自分の価値観も大切にしながら、自分らしく充実した生き方をしようとする心情を育てる。

アクティビティ 「日本と世界を比べてみると…」

●概要

世界の学校制度や外国の子どもたちの暮らしを知り、ワークショップを通して文字が読めないことで起こり得る日常の不都合について実感する。また、地球規模の課題や人によって幸せの形は様々なこと、個人の幸せと世界の現状、子どもの権利について考える。

●主な対象

小学校6年生

●用意するもの

- ・パワーポイント (P69)
- ・国旗を4つに切ったもの：様々な国の国旗を4つに切り分け、それぞれのカードの裏側にその国の言語での「こんにちは」をカタカナで書いておく。一人1枚に行き渡るように枚数を調整する。
- ・紙コップ
- ・水、ジュース (透明が望ましい)、塩：紙コップで体験できる分量
- ・世界地図
- ・ふり返しシート (P68)：人数分
- ・絵本『子どもの権利ってなあに？』

●所要時間

90分

●すすめ方

学習活動・内容・問いかけ	留意点 (ポイント)
<p>【アイスブレイク】</p> <p>0. 国旗を4つに切ったものを一人1枚配る。</p> <p>1. 教室中を歩きながら目が合った友達とカードの裏側に書かれてある言葉であいさつを交わす。(世界の国のあいさつ)</p> <p>2. 同じ言語の仲間を見つけ、4人が集まったら国旗のパズルを完成させる。タブレットや世界地図で国の名前や位置を調べる。</p>	<p>男子、女子、仲良しグループが偏らないよう意識してカードを配る。 本時は集まったグループで最後まで学習することを最初に確認しておくこと。</p>
<p>【世界の小学校について知る】</p> <p>1. パワーポイント (P69スライド1～6) を使って、世界の学校について解説する。児童は、日本と世界の学校生活の違いを知って感じたこと、考えたことをグループで共有する。</p> <p>2. 世界の課題 (子どもの権利が守られていない現状) について触れ、その中でも「学校へ行けないと具体的に何が困るのか」をイメージマップ (P68) を用いながらグループで意見を出し合う。</p>	<p>今回はラオスとブラジルを例に取り上げた。児童との対話を楽しみながらクイズ形式で学習を進める。</p> <p>外国の子どもたちの生活について初めて知ったこと、驚いたこと、「このままでいいのかな (課題)」の視点で話を聞くことを確認しておく。</p>

【『文字が読めない』体験】

1. アルバイト先を見つけよう！

- (1) ラオ語で書かれた4つのアルバイト募集広告(P69スライド15)を見て、どこのお店で働きたいか、どの募集広告の条件がよさそうであるかを話し合い、決定する。

- (2) 感じたことや考えたことをふり返り、グループ→全体で共有する。

2. ホンモノの薬を見つけて仲間を助けよう！

- (1) 大切な仲間が腹痛で困っているが診療所には先生がいない。目の前にはラオ語で書かれた3つの薬らしきものがある。グループで話し合っただけだと思っただけのものを選ぶ。(スライド17~18)

- (2) 腹痛で困っている仲間に飲ませる。

- (3) 感じたことや考えたことをふり返り、グループ→全体で共有する。

【自身のアンコンシャスバイアスに気付く】

1. 先進国、開発途上国について解説する。(スライド20)

2. 開発途上国についてイメージしたこと、連想したことを学級全体で共有する。

【発問】 開発途上国と聞いてどんな〇〇を想像しますか。(家、学校、スーパー、トイレ等)

3. パワーポイントで提示する写真を「先進国」か「開発途上国」か弁別させる。(全5枚の写真はいずれも教師海外研修で撮影したラオスの写真)

高知県の最低賃金と10万キープが約700円ということを示しておくことで、数字をよく見て前後に何が書かれてあるのかを想像したり、数字の大小や意味を考えたりできる。意味のある話し合いがされるように工夫する。

求人の中には不適切な内容や条件の悪いものもあり、活動後は文字が読めないことで起こり得る日常生活の不都合について全体でシェアする。

3つのボトルにはそれぞれラオ語で「水」、「薬」、「毒」と書かれていることを事前に伝えておく。児童はラオ語が分からないため勘に頼って薬を選ぶしかないが、仲間の生死にかかわる判断のため慎重になるよう促す。(薬は味のついた透明のジュースを、毒は塩水を使った)

文字が読めないことは命に関わることがあるかもしれないこと、文字が読めたら1秒で判断できることが、文字が読めないために判断に時間がかかること、投げやりになったり、諦めてしまったりする気持ちを抱くことや、読み書きの大切さについて実感させたい。

「先進国」「開発途上国」という言葉の意味を学級全体で確認し、質問を通して開発途上国についての具体的なイメージを想像させる。(ここでは途上国についてマイナスなイメージが出てきてもよい)

弁別の際にはなぜそう考えたのか、理由も答えさせるようにする。

「『開発途上国』はこうだ」という無意識の思い込み(アンコンシャスバイアス)について児童と確認する。(※無意識な思い込みは誰もが起こり得る自然なことで、悪いことではないと伝える)

4. 日本の幸福度ランキングを示し、その理由を考える。

(個人→グループ)

【発問】世界全体で見たとき、日本の幸福度ランキングは何位くらいだと思いますか？

5. ふり返りシートを使い、児童それぞれが持つ「幸せ」について考え、本時の学習をふり返る。(個人→全体)

【発問】みなさんはどんなときに幸せだなあ…と感じたり、心がホッと温かくなりますか。思いついたものをできるだけたくさん書いてみましょう。

6. 絵本『子どもの権利ってなあに？』を読み聞かせる。

子どもの権利が守られていない国や地域があることをもう一度想起させ、本人が幸せであれば権利が守られていなくてもいいのか、それは本当に幸せと言えるのかを問い、オープンエンドで本時の学習を終える。

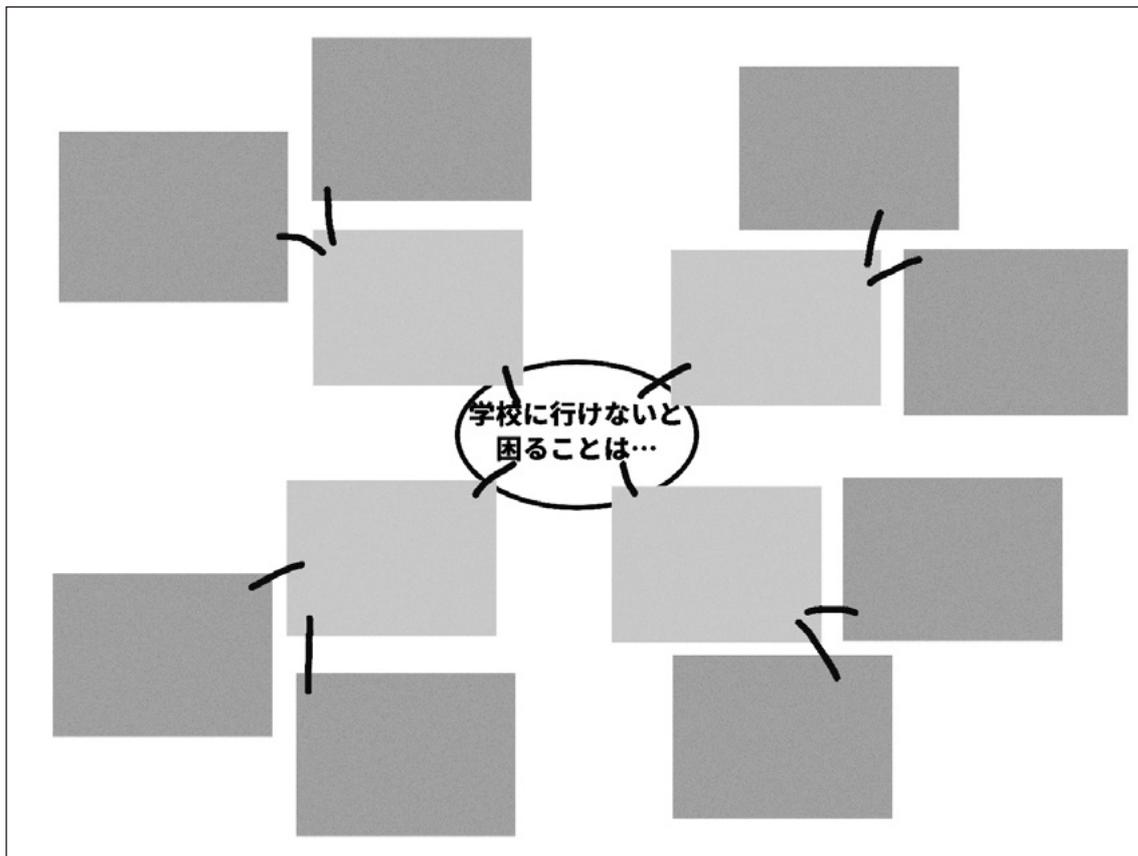
「途上国だから、先進国だから」と決めつけて、それぞれの幸せを自分のものさしで測ってしまっていた自分がいたことを子どもたちに伝えることで、無意識の思い込みは誰にでもあることを気付かせたい。

ラオスで生活する人々の生き生きした姿や教師海外研修で自身が感じたことを紹介し、児童一人一人の幸せについて考えさせる。

※「幸せ」の概念が難しい児童には「心がホッとする」「ハッピー」「うれしい気持ち」という言葉を使って、日常生活の中にたくさんの幸せが溢れていることに気付かせたい。

グループや全体での共有を通して、幸せの形は人それぞれであること、自分が好きなことや大切にしたい人、もの、こと、場所は胸を張って好きだと言っていいこと、自分と人は違っていいことを実感させたい。

イメージマップ (見本)



ふり返りシート (見本)

♥ どんなときに幸せを感じますか？

-
-
-
-

【学習を通して考えたこと・感じたこと】

パワーポイント（見本）

※データはウェブ上からダウンロードしてください。

世界の学校について知ろう！

私たちの思うあたりまえは
本当に世界の
あたりまえなのか！

世界の学校は…

ラオス人民共和国		ブラジル連邦共和国	
9年間 (小5年・中4年)	義務教育	14年間 (幼2年・小5年・中4年・高3年)	
9月から	新年度	2月20日から	
5分間	7時間 授業時間	40分間	6時間
あり	宿題	あり	

ラオスにもブラジルにも留年制度があるよ！
クラスにいるんだね！
お返しでも色んな年の人が

【出典】JICA学校制度・教育文化

ちょっとびっくり…

ラオス人民共和国		ブラジル連邦共和国	
休み時間		おかしOK!	
遅刻→図書室で待機		学校に入れない	

昼休みは約2時間！
→お家で家族と過ごす

【出典】JICA学校制度・教育文化 【資料】iStock by Getty Images (https://www.istockphoto.com/jp)

世界の学校～登下校編～

【資料】命がけ？15枚の写真で見る、世界各地のとんでもない通学路。BUSINESS INSIDER (https://www.businessinsider.jp/post-100655)

世界の学校～お昼ご飯編～

【資料】iStock by Getty Images (https://www.istockphoto.com/jp)

みんなでシェア

びっくり！ うらやましい！

いいのかなあ…？

◎一定の年齢で小学校に入学した人の割合

日本	100%
ブラジル	99%
ラオス	91%
南スーダン	37%

【出典】ユニセフ(国連児童基金)世界子供白書2023

◎小学校を卒業した人の割合

日本	100%
ブラジル	%
ラオス	%
南スーダン	%

【出典】ユニセフ(国連児童基金)世界子供白書2023

◎南スーダンの場合

小学校へ入学した人…37人(37%)
小学校を卒業した人…9.25人(25%)

残りの28人は…

【資料】iStock by Getty Images (https://www.istockphoto.com/jp)

なんで学校に行けないの？

家の手伝い
労働
早すぎる結婚
戦争・災害
学校がない
先生がいない

【資料】iStock by Getty Images (https://www.istockphoto.com/jp)

学校に行けないと困ることってあるのかな

◎読み書きができる15歳以上の人の割合

日本	%
ブラジル	%
ラオス	%
南スーダン	%

【出典】ユニセフ世界子供白書2023、JICA学校制度・教育文化

文字が読めないってどんな感じ…

ワークショップに挑戦！

- ①アルバイトを始めよう
- ②ホンモノの薬を見つけろ

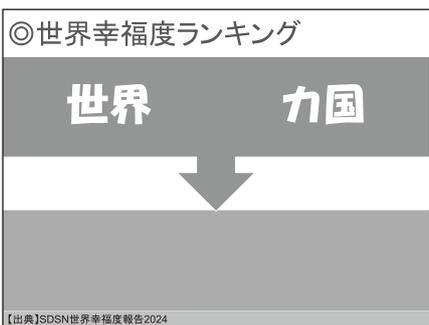
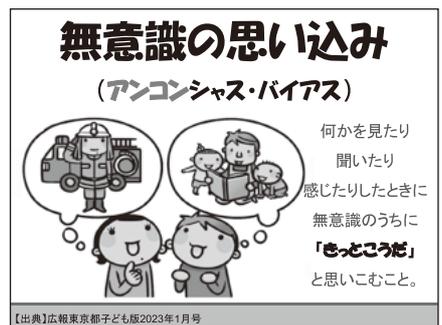
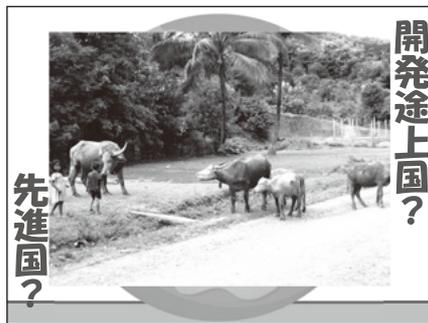
条件のいいバイト先で働こう！

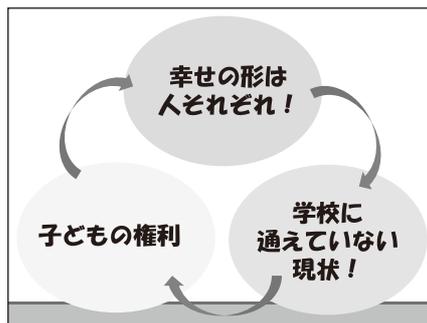
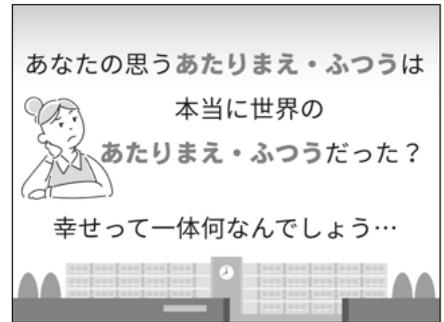
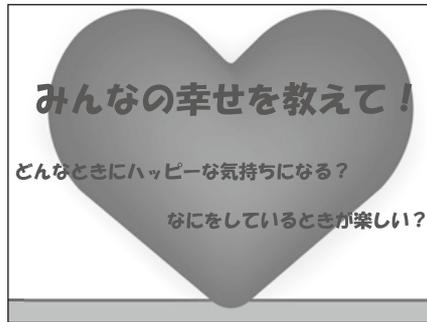
ເຮືອນໂງາ : ສົມຄຸນບັນດາ ເລາ : 1 ມື້ 12 ຊົ່ວໂມງ ໄລຍະທາງ : 150,000 ກີໂລແມັດ	ເຮືອນໂງາ : ຄົວມິງ ເລາ : 2 ອາທິດ ຕັ້ງບຸຄົນ : 1,000,000 ກີບ
ເຮືອນໂງາ : ບາງເຮືອ ອຸດົມກອນ ເລາ : 1 ມື້ 3 ຊົ່ວໂມງ ພາລັງຍານສົ່ງບັນດາ : 3000 ກີໂລແມັດ	ເຮືອນໂງາ : ສອມມອດຕີ ເລາ : 1 ມື້ 8 ຊົ່ວໂມງ ຕັ້ງບຸຄົນ : 1 ຊົ່ວໂມງ 200,000 ກີບ

条件のいいアルバイト先で仕事を始めよう!

仕事：バスの運転手 時間：1日12時間 走行距離：15万Km (給料のことは不明)	仕事：ベビーシッター 時間：2週間 給料：100万キープ (7000円)
仕事：サッカーコーチ 時間：1日3時間 消費カロリー：3000キロカロリー (給料のことは不明)	仕事：パソコン 時間：1日8時間 給料：時給20万キープ (1時間1400円)

10万キープ=約700円
高知県最低賃金(時給952円)





●用語 ※対象児童に合わせて教師が定義したものです。

先進国…経済が大きく発展している国

開発途上国…経済力がまだ十分でない国

おわりに

本プログラムの作成にあたって、自分自身の無意識の思い込みに気付かされる場面が多々あった。特に日本の幸福度ランキングを考えた際には、開発途上国は世界の75%であること、日本は先進国であり、識字率も100%に近い。子どもたちは毎日学校に通うことができ多くの子どもたちが中学3年生までの教育課程を終え卒業する。蛇口をひねれば安全な水が流れ、帰る場所や安心して眠れる家がある。こんなことを考えた時に日本は世界の幸福度ランキング10番以内には入っているだろうと考えた。しかし、この考え方は先進国だから、途上国だからという無意識の思い込みであり、自身がバイアスに陥っていることを痛感した。無意識の思い込みは誰にでも起こり得る自然なものであるが、時に誰かを傷つけたり、自分の可能性を狭めてしまったりすることがある。今後も自身の言動や思考に気を付けながら、子どもたちと関わっていききたいと強く感じた。

参考文献・引用資料

- ・「教育制度・学校文化（ブラジル・ラオス）」JICA横浜
https://www.jica.go.jp/domestic/yokohama/information/topics/2023/1516021_14656.html
- ・「表11 教育指数」Unicef世界子供白書2023
https://www.unicef.or.jp/sowc/pdf/UNICEF_SOWC_2023_table11.pdf
- ・「先進国や開発途上国って、どういう国のことですか？」Gakkenキッズネット
<https://kids.gakken.co.jp/kagaku/eco110/ecology0114/>
- ・「無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）」広報東京都こども版 2023年1月号
<https://www.kodomokoho.metro.tokyo.lg.jp/article/202301-1/>
- ・「世界一大きな授業2013」教育協力NGOネットワーク（JNNE）
<https://jnne.org/gce2013/pdf/material2013.pdf>
- ・「命がけ？ 15枚の写真で見る、世界各地のとんでもない通学路」（クリス・ウェラー、BUSINESS INSIDER）
<https://www.businessinsider.jp/post-100655>
- ・iStock by Getty Images <https://www.istockphoto.com/jp>
- ・『小学校学習指導要領（平成29年告示）』（文部科学省、東洋館出版社、2018年）
- ・『ワークショップ版世界がもし100人の村だったら第6版』（開発教育協会、2020年）
- ・『子どもの権利ってなあに？』（アラン・セール、反差別国際運動、開放出版社、2020年）

実践事例報告

プログラム作成・実践者

岡崎 麻央

学校名

高知市立昭和小学校

担当学年

6年生

実践教科

総合的な学習の時間（人権学習）

【授業の概要】

(1) 単元のテーマ：本当の幸せってなんだろう？

(2) 単元のねらい

- ・無意識の思い込みは誰にでもあると気づき「ふつうは、みんなは」ではなく、目の前にいる違う個性をもった一人一人を大切にしようとする心情を育てる。
- ・幸せの感じ方は人それぞれであり、相手の価値観も自分の価値観も大切にしながら、自分らしく充実した生き方をしようとする心情を育てる。

(3) 概要

児童の身近な「学校」に視点をしばって日本と世界の学校を比較していく。その中で児童は日本の学校制度が世界のあたりまえ、常識ではないことや学校に行くことができていない子どもたちが世界にはたくさんいるという課題に気づくだろう。そこで、学校に行っていないと具体的に何が困るのかについて考え、文字が読めないことで起こる日常生活の不都合を体感するためにワークショップを2つ行う。そして児童は先進国・開発途上国について定義を押さえ、写真を弁別する活動を通して、自身の中にある無意識の思い込みに気付かせたい。幸せの形は人それぞれであり、人に非難されたり周りが決めつけたりするものではないという気持ちが醸成されているところで自身の幸せについて考えさせる。最後に、幸せの形は人それぞれというが、子どもの権利が守られていない世界の現状を振り返り、本人たちが幸せだと感じているのならば、権利は守られていなくてもいいのかと問いオープンエンドで学習を終える。

(4) 指導上の留意点

- ・教師海外研修で訪問したラオスと、日本の反対側に位置し、時差が12時間あるブラジルを例に取り上げ、児童との対話を楽しみながらクイズ形式で学習を進めるが、事前に話を聞く視点（驚き・羨望・課題）を明らかにしておき、適宜グループでシェアする時間を設ける。
- ・『先進国』『開発途上国』という言葉の意味を学級全体で確認した後に「どんな〇〇（家・トイレ・学校・病院など）を想像するか」について先進国と開発途上国を比較させながら具体的なイメージを想像させていく。ここでは児童の素直な意見を引き出したいため、途上国についてマイナスなイメージが出てきてもよいこととする。
- ・最後は読み聞かせを通して、子どもの権利が守られていない国や地域があることをもう一度想起させ、幸せ・権利・現状について再考させながらオープンエンドで学習を終えたい。

(5) 児童生徒の感想や学び・気付き

♥️ どんときに幸せを感じますか？

- 家族や友達と遊んでいるとき
- 家族で好きなドラマを見るとき
- みんなでおいしいお母さんの作ったごはんを食べているとき
- あったかい布団の中で寝るとき
- 宿題とかやらないといけないことが終わったとき

【学習を通して考えたこと・感じたこと】

私が今まで幸せと思っていたことは、いつでもインターネットにつないで好きな動画を見たりゲームができるということでした。でも今日の勉強で私が感じた幸せは、心がほっとしたり、自分の時間を自分のためにゆっくり使ったり、友達や家族といっしょに何かをしているときだと気づきました。それから、世界には色々な事情で学校に行くことができない子どもがいっぱいことも知りました。だけど私は、その人が今の状況を幸せと感じているんだしたら、それは幸せでいいと思います。権利は守られていないかもしれないけど、その人が幸せならそれでいいと思いました。私は歩いて通えるところに学校があって、下校後は友達と遊んで、それはあたりまえじゃない幸せなことなんだと思いました。だから私は日本で生まれたことに感謝して、今の生活が当たり前と思わずに過ごして行きたいです。

♥️ どんときに幸せを感じますか？

- 好きなことをだれにも邪魔されず思いっきりしているとき
→ テレビ・ゲーム・YouTube・友達と通話・おかし作り
- 好きなもの（寿司・焼肉・カレー）を食べているとき
- 寝ているとき
- 飼っている動物と戯れているとき
- 家で家族が出かけて一人になるとき

【学習を通して考えたこと・感じたこと】

ぼくは今回の授業で一生懸命考えたけど『あたりまえ』とか『幸せ』というものがよく分からなかったです。でもそれは『あたりまえ』とか『幸せ』は人によるもので正解とか答えがないから分からないのかなとも思いました。権利というのは子どもたちが求めていなくても、周りの大人たちが子どものために、こうした方がいいと考えて決めたものだから、本人が幸せって思っても権利が守られていないと、それは本当の幸せじゃないと思いました。ぼくも学校に行く権利がなかったら、今日の授業みたいに文字が読めなくて、もしかしたらそれが命に関わる大変なことにつながるかもしれないと思いました。今回の授業はすごく頭を使って色々なことを考えました。本当の『あたりまえ』とか『幸せ』ってなんだろうと答えを出すことができません。

【授業実践をした上での感想・ふり返し】

本時は2時間通しの90分授業であったが、子どもたちは最後までよく考え、集中し、楽しみながら学習することができた。導入では、同じ小学校でも国が違えば制度もルールも全く違うのだと興味をもって学習に向かう姿が見られた。児童は自分たちの生活と比較しながら考えることはできていたが、「羨望」の視点が強く、多角的な立場から事象について考えるというところまでには至っていない。学校制度の違いや世界の登下校、昼食の様子を見たときに「本当にこのままでいいのかな。これってちょっとまずいんじゃない。」と考えたり、反対に「〇〇だから日本もこうした方がいいのになぁ…」という視点についてグループや全体で共有する時間を十分に与えると、批判的思考力の育成にもつながっていくのではないかと考える。子どもたちは学習を進めていく中で世界の子どもたちが直面している課題に出会う。小学校に入学した子どもの割合、教育課程を終え卒業した子どもの割合、世界各国の識字率の数値を示すことで、現代においても世界には学校に通えていない子どもたちがこんなにいるのかと驚いている様子だった。2つのワークショップでは「文字が読めない」を体感することができた。文字が読めないと数字や勘に頼って決めるしかないこと、分からないから投げやりになってしまう感情、教えてって周りの人に聞いても誰も分からない為す術のない状況を実感することができた。今までは世界の課題に対して、遠い海の向こうで起こっていること（他人事）と思っていた児童であったが、学習を通して「自分らぁは学校に行けゆうけど…」「日本は識字率が高いけど…」「このままじゃいかん！」と自分事として考え、不安感や憤りをぽつりぽつりと呟く姿も見ることができた。学習の最後、幸せ・権利・世界の現状の関係については本時の中で一番熟考させたかった場面であったが時間が足りず、全体でシェアすることはできなかった。振り返りから児童の考えや気付きを見取ることはできたが、答えのない問いについて児童の言葉でああだこうだと議論させたかった。これから児童は社会科「世界の中の日本」という単元に入り、地球規模の課題、国際連合の取組や日本の役割について学習を進めていく。子どもたちには今回抱いた感情や思いを忘れず、今この瞬間に世界のどこかで起こっている課題を自分事としてとらえ、共に生きることのできる公正な地球社会を目指して行動できる人であってほしいと思う。私自身も地球で暮らす社会の一員として研鑽を積みながら世界の出来事に関心を持ち、答えのない問いについて児童と共に議論したり、子どもたちが世界を身近に感じるきっかけとなったりするような一年一年を築いていきたい。



グループで話し合う児童たち



グループで選んだ薬を飲んでいる児童